

離床アドバイザー 1年取得ゼミナール

2026年 GuideBook



2026 ゼミナール生 スケジュール

2026年

開講式	1月10日	(土)	オンライン (講座終了後)
ゼミナールサロン	2月12日	(木)	
ゼミナールサロン	5月14日	(木)	
第16回全国研修会・学術大会	6月13日	(土)	現地・オンライン ハイブリッド形式
ゼミナールサロン	9月24日	(木)	
修了式・ゼミナールサロン	12月10日	(木)	

2027年

第1回インストラクター試験対策	1月	(木)	予定
第2回インストラクター試験対策	2月	(木)	予定
離床インストラクター筆記試験	3月20日	(祝)	予定
第17回全国研修会・学術大会	6月	未定	現地・オンライン ハイブリッド形式 (予定)
離床技術マスター合宿 ※実技試験免除	10月	未定	予定
離床インストラクター実技試験	9月	未定	予定

※開講式ではゼミナールについての説明、修了式では修了証の授与を行います。
ゼミナール生間の親睦を図るため極力スケジュールの調整をお願いいたします。

臨床を元気に！ 不必要な臥床を無くすために

離床を進めるリーダーとなるスタッフ「離床アドバイザー」の資格を短期間で集中して習得するゼミナールです。

「離床アドバイザー」は、離床に関する知識・技術を習得し積極的に離床を図れるレベルと評価されます。

また、自分ひとりではなく、同じ目標を持った多施設・多職種の間と一緒に学ぶことが本ゼミナールの特徴です。

ゼミナールでは、施設でリーダーシップをとり、率先して離床を進めることのできるモビライゼーション（離床）リーダーを育成します。このリーダー養成コースは世界に認められる教育システムです。

当ゼミで研鑽を積み、素晴らしい臨床家を目指してください。

日本離床学会
代表理事 曷川 元



目次

1. 教育課程（カリキュラム）	4
1-1 目的	4
1-2 ゼミナールの目的	4
1-3 教育課程の仕組み	5
1-4 単位制度	5
1-4-1 当日の出席確認	5
1-4-2 当日に受講できない場合の受講確認	5
1-5 単位補充制度（セイフティーネット）	6
1-5-1 フォローアップ補習への参加	6
1-5-2 インターネットセミナーレポートの提出	6
1-5-3 ゼミナール入学前の履修単位	6
1-5-4 ゼミナール卒業後の単位（離床パスポートの活用）	6
1-6 学期	7
1-7 修了式	7
日本離床学会教育システム 講義時間数の目安	8
2. 修学上の注意事項	9
2-1 会員手続き	9
2-2 ゼミナール生への連絡方法	9
2-3 退学	9
2-4 除籍	9
2-5 ゼミナール学費引き落としについて	9
2-5-1 引き落としが不能な場合	9
3. 講座申込み・受講方法について	10
3-1 講座申込み	10
3-2 講座受講方法	10
3-3 講座履修単位	10
3-4 欠席・キャンセルの連絡	10
3-5 休講	11
3-6 講座単位認定	11
3-7 その他	11
4. 離床アドバイザー習得要件	12
4-1 履修単位の管理	12
4-2 認定方法	12
4-3 離床プレミアム・パスポート	12
4-3-1. 離床プレミアム・パスポートとは	12
4-3-2. 離床プレミアム・パスポートのコース	13
4-3-3. 手続き	13
5. 離床インストラクター資格取得までのカリキュラム	14
5-1. 離床アドバイザー認定後の将来	14
5-2 講師コース	15
5-3 一般市民教育コース	15

1. 教育課程（カリキュラム）

1-1 目的

日本離床学会の教育目標は「安全な離床とは何かを真摯に考え、適切な時期に離床を実施できる臨床家の育成」です。高度な学術知識の習得で研鑽を積み上げ、世界へ最新の見識を発信していく情報発信基地として社会に貢献することを目的としています。

1-2 ゼミナールの目的

日本離床学会では、離床に特化した高度な知識や技術レベルを持つスタッフ育成のため、臨床で必要とされる知識・技術の基準を満たした者に対し、離床アドバイザーの資格認定をしています。離床アドバイザーの資格を習得することによって更に上位の“離床インストラクター”試験に挑戦することができます。試験に合格し、離床インストラクターになると、当会講師メンバーとして全国の離床に関する教育活動に参加する講師コース、患者・家族を含む一般市民の離床の啓発に関わる活動に参加する一般市民コースに登録することができます。

そのインストラクターの前段階としての認定資格がアドバイザー資格となります。離床ゼミナールでは離床アドバイザーの資格を1年のコアカリキュラムによって基準の単位数を修得することを目指します。

【理論コースの目的】

本コースは離床に必要な理論や知識を習得することを目的としています。離床に関する概論、解剖・生理学的知識、リスク管理に必要な知識を学習します。また各論講座では、人工呼吸器などの機器使用に関する知識、心電図波形、心エコー、血液ガスデータ、生化学データ、X-P画像といったデータ読解の知識、フィジカルアセスメントの診方など、臨床で必要とされる様々な知識を学びます。自身で根拠をもって離床を推進でき、かつ多職種との信頼関係のもと、話し合いや協力を通し、最新の医療知見に基づいたケア・リハビリテーションをチーム連携で成し遂げられることをねらいとしています。

【実技コースの目的】

本コースは実際に離床を促すための技術を習得することを目的としています。体位変換・移乗動作などの段階的な離床を推進するために必要な方法を学びます。またリスク管理に必要な症状別のフィジカルアセスメント、呼吸介助や排痰技術などテクニカルな手技を実技形式で学習します。さらに人工呼吸器の使用法やDVT・リンパ浮腫の弾性ストッキングの着脱法など、臨床現場に特化した実技を学ぶこともできます。臨床で自信をもって離床の実践ができるとともに、多職種への離床技術の共有、円滑なチーム医療の遂行を行えることを目標とします。

1-3 教育課程の仕組み

教育課程（以下カリキュラム）とは、離床アドバイザーの教育目標を達成するために、個人の臨床経験や技能、学習過程に応じて構成される教育内容計画のことです。それぞれ教育内容ごとに、臨床で十分な知識や技術が活用できるレベルに習熟できると考えられる必要な時間数を設定しています。（[日本離床学会教育システム 講義時間数の目安 P8 参照](#)）

本ゼミナールで離床アドバイザーを習得するには、本ゼミナールを1年間受講し、所定の単位である計14単位を修得する必要があります。カリキュラムは、理論コース、実技コースの2つのコースから構成されており、単位修得にはそれぞれ必要な単位数が定められています。離床アドバイザーを習得するには、理論コース7単位かつ実技コース7単位修得する必要があります。もし1年間ゼミナールでアドバイザーを習得できないと予測される場合でも、補充単位によって単位を修得できるシステムがあります。

1-4 単位制度

アドバイザー習得には単位修得が必要です。ゼミナール生は講座に参加することで、その講座に応じて設定された単位数を修得することができます。定められた履修方法に基づいて各講座を履修し、アドバイザーに必要な単位を修得することになります。

当会の1単位の講座は5時間以上の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

科目区分	講座時間数	修得単位数
共通コース	6時間	理論・実技各1単位
理論コース	2-13時間	0.5~2単位
実技コース	2-13時間	0.5~2単位

1-4-1 当日の出席確認

講座当日の参加者には、Zoomのチャット機能に、講演中のどこかで出席確認のGoogle FormsのURLがリンクされます。「氏名とメールアドレス」を入力することで履修単位が認められます。

1-4-2 当日に受講できない場合の受講確認

ゼミナール生ページ（<https://www.rishou.org/zemipage-2026#/>）に記載のある単位認定レポートに回答することで、履修単位が認められます。単位認定レポートの提出がない場合は、履修登録（受講申込）をしても、単位が認定されませんのでご注意ください。

※講座当日に参加された方は、単位認定レポートの入力は不要となります。

1-5 単位補充制度（セイフティーネット）

アドバイザー資格習得に必要な単位数を講座受講で満たすことができない、またはそれが予想される場合下記の方法で単位を補完することができます。

i	実技フォローアップ補習への参加	実技 2 単位
ii	会員用インターネット動画視聴によるレポートの提出 (通常セミナーのオンデマンドレポートとは別です)	上限 2 単位
iii	入ゼミ前に習得した単位	上限なし
iv	ゼミナール期間中の自費受講	上限なし
v	卒ゼミ後に習得する単位 (離床パスポートの活用)	上限なし

1-5-1 フォローアップ補習への参加

ゼミナール生限定で行われる実技フォローの補習です。講座で学んだ技術を総復習し、臨床活用できるテクニックを身につけることを目的としています。フォローアップの受講で 2 単位修得することができます。詳細は当会事務局よりメールで連絡します。その際に履修登録を行うことで参加することができます。

1-5-2 インターネットセミナーレポートの提出

日本離床学会ホームページ上、会員が視聴できるインターネットセミナーのレポートを作成・提出し一定基準を満たすことによって補充単位を修得できます。

インターネットセミナーレポートは動画内容 30-60 分の視聴に加え、レポート作成に必要な 60 分を自学学習時間として設けており、計 3 本のレポート作成で講座時間と同等の 6 時間 (1 単位) に達するよう考慮されています。

レポート提出の詳細は下記をご参照ください。補充単位はレポート 3 本に対し 1 単位の付与となり上限は 2 単位です。

レポートは、タイトルを「【動画タイトル】について」とし、所属、氏名、メールアドレス (必須) を記載ください。本文は 1400 字以上とします。添削基準は動画内容をまとめた内容に加え、「自身で調べたこと」、「最も印象に残ったこと」、「臨床での今までの考え方」、「動画を視聴し変わった考え方」、「臨床でどう活用できるか」また「臨床で活用する際の問題点」の記載があるか、となります。提出の際は当会事務局宛に郵送、メールまたは F A X にて行ってください。添削結果は提出確認後、添削し 1-2 週間を目安にメールで連絡します。3 週間待っても返信が来ない場合は当会事務局まで連絡ください。

1-5-3 ゼミナール入学前の履修単位

離床アドバイザー 1 年取得ゼミナールに入る前に受講した日本離床学会教育講座の履修単位をアドバイザー認定時に利用することができます。

1-5-4 ゼミナール卒業後の単位 (離床パスポートの活用)

ゼミに入ってから1年経つと離床プレミアムパスポートへの参加権が得られます。離床プレミアムパスポートで受講したゼミナール卒業後の単位も、アドバイザー認定単位として認められます。

1-6 学期

本ゼミナールの学期は2026年1月1日より2026年12月31日までと定めます。（ゼミナール卒業後も単位取得は可）

1-7 修了式

修了式は12月に行います。アドバイザー習得に必要な単位数を満たした者または予定者にアドバイザー資格の認定を行います。単位の履修は計画的に行うよう管理してください。

日本臨床学会教育システム 講義時間数の目安

理論コース	講義概要	時間	実技コース	講義概要	時間
基礎理論プログラム	早期離床のエビデンスとコンセプト	5	基本実技プログラム	早期離床技術のエビデンスとコンセプト	5
呼吸機能の解剖・生理	人がなぜ呼吸をするのか？ ガス交換のメカニズム	7	呼吸 (フィジカルアセスメント)	呼吸苦・リトラクション・ラトリング・気管支呼吸音・肺野呼吸音・副雑音・打診音	5
人工呼吸器ケア	人工呼吸器の適応・仕組み・パラメータなど	7	循環 (フィジカルアセスメント)	血圧・脈拍数・頸静脈怒張・手足の冷感・湿潤・心音	5
鎮静・せん妄	鎮静・せん妄・離床の関係	5	消化器 (フィジカルアセスメント)	腹水・ガスの貯留の理解、肝腫大・脾腫のアセスメント、腸閉塞のアセスメント	3
酸素療法	酸素療法目的、投与器具	5	運動器 (フィジカルアセスメント)	運動機能のスクリーニング、バランステスト	3
呼吸器疾患の理解とケア	呼吸不全・肺炎・気胸・肺水腫など	5	急変対応	急変対応・対処・報告	5
循環の解剖・生理	体循環と肺循環	7	体位変換 (上方移動・側方移動)	段階的離床の準備、呼吸器合併症予防・改善	3
心電図検査	血圧の3因子・前負荷・後負荷	7	体位変換 (前傾側臥位)	呼吸器合併症予防・改善、排痰目的、ポジショニング	3
心臓血管外科術後	心電図検査の目的・正常と不整脈	5	体位変換 (腹臥位)	呼吸器合併症予防・改善、排痰目的、ポジショニング	3
循環器疾患の理解とケア	循環不全 (ショック) ・起立性低血圧など	5	移乗動作 (起き上がり・立ち上がり)	移乗動作前の環境設定と患者指導のコツ、立ち上がり動作のメカニズム	3
骨・関節・筋	骨・関節・筋の構造・触診	5	移乗動作 (部分介助)	膝ブロック法、Hold & Cover法、背後からの介助など	3
骨・関節系疾患の理解・ケア	骨折・変形・術後・ケアなど	5	移乗動作 (全介助)	膝持たれ法、抱え込み法、二人介助など	3
脳神経系の解剖・生理	脳脊髄液・脳循環自動調節能・脳卒中病態など	7	呼吸ケア手技1	呼吸介助手技の適応と技術指導	3
高次脳機能障害	高次脳機能障害に対する理解・ケアなど	7	呼吸ケア手技2	呼吸介助 (ハフティング・ACBT)	3
嚥下栄養	嚥下基礎知識・嚥下アプローチ	5	関節可動域運動1	リラクゼーション実施目的の理解・技術指導	3
検査・データ1	血液データ (炎症値・腎機能・肝機能・糖尿病など)	5	関節可動域運動2	ストレッチング法の実施目的の理解・技術指導	3
検査・データ2	血液ガスデータ (P/F比・酸塩基平衡の理解・病態)	5	関節可動域運動3	関節可動域運動の実施目的の理解・技術指導・Endfeの理解	3
各疾患治療薬	疾患別画像読影 (X-P・CT・MR・エコーなど)	7	病棟リハビリテーション1	床上での運動指導と留意点	3
合併症	強心薬・降圧剤・抗不整脈薬・血管拡張薬・抗血小板・抗凝固薬・利尿薬・睡眠導入薬・鎮静薬・鎮痛薬・気管支拡張薬など作用・副作用	5	病棟リハビリテーション2	寝返り動作獲得の指導と留意点	3
重症患者の離床	深部静脈血栓症 (DVT) ・リンパ浮腫の病態理解・ケア がん・周術期に対する病態理解・ケア	5	病棟リハビリテーション3	起き上がり動作獲得の指導と留意点	3
離床プログラムの立案	人工呼吸器装着患者の離床の留意点	5	病棟リハビリテーション4	端座位バランス向上の指導 (リーチ動作) と留意点	3
リスク管理	離床の阻害因子と離床レベルの設定、 離床の効果判定	5	病棟リハビリテーション5	立ち上がり動作獲得の指導と留意点	3
症例形式によるシミュレーション	各病態における離床の開始基準と中止基準 各疾患の症例検討	5	病棟リハビリテーション6	立位バランス向上の指導と留意点	3
理論コース履修時間		35	実技コース履修時間		35

2. 修学上の注意事項

2-1 会員手続き

ゼミナール入学時に会員手続きを行って下さい。初年度の年会費は無料となります。

2-2 ゼミナール生への連絡方法

ゼミナールに関する日本離床学会からの連絡は原則メールとなります。

ゼミナールのスケジュールに関する事、単位認定に関する事、提出物に関する事など、ゼミナールを円滑に遂行するために必要な情報を連絡します。見落とすとゼミナール遂行に支障をきたす恐れもあるので注意してください。

また当会からのメール（jsea@rishou.org）が必ず受信できるよう各自メールの受信設定を予め確認してください。

2-3 退学

都合により退学の手続きを取る際は、当会事務局に連絡をしてください。

途中解約する場合、以下の2点の申請・支払いを行ってください。

1. 途中解約の申請は解約希望月の1ヶ月前に事務局に連絡をしてください。
2. 解約をご希望の場合は、解約金10,000円に加え、ゼミ開講から解約月までに配信されたゼミナール対象講座の「正規受講料」との差額をお支払いいただくことで、解約が可能です。

2-4 除籍

所定の学費を期日までに引き落としができない場合、「除籍」となります。

2-5 ゼミナール学費引き落としについて

(1) 毎月27日（金融機関休業日の場合は翌営業日）に、指定の金融機関の口座・クレジットカードより学費8,800円（税込）が引き落とされます。

※クレジットカード決済の場合のみ、毎月27日前後となります。

(2) 引き落としの前日までに入金を済ませておいてください。

(3) 引き落としができない場合当会事務局から連絡することがあります。

2-5-1 引き落としが不能な場合

(1) 万一、残高不足になると引落不能となります。やむを得ず納入が遅れる場合は、必ず事務局までご連絡ください。

(2) 引き落とし不能となった場合、翌引落月に2回分を引き落とします。

3. 講座申込み・受講方法について

3-1 講座申込み

ゼミナール生対象講座を受講するためには、履修申込み手続きは不要です。対象講座は事務局より開催数日前に、当日受講の URL が送付されます。見逃し受講については、原則開催後 1 週間以内に視聴 URL とパスワードを送付されます。

3-2 講座受講方法

オンライン受講時は、講座当日の URL 案内メールに記載された「ID」を名前の代わりに使用し受講してください（フルネームで参加も構いません）。現地（会場）開催時には、「ID」の番号を受付でお知らせください。

3-3 講座履修単位

当日受講（オンライン）参加



当日の出席確認で単位が認められる。

見逃し受講（オンデマンド）参加

見逃し受講期間 2 週間あり

12/3 名探偵歯車と学ぶ 離床のリスク管理～患者を絶対キケンな目にあわせないためのメソッド～
ゼミ生単位認定レポート

氏名*

回答を入力

「ゼミ生単位認定レポート」に回答することで受講単位が認められます。

※講座当日（オンライン）参加

講座当日の参加者には、Zoom のチャット機能に、講演中のどこかで出席確認の Google Forms の URL がリンクされます。「氏名とメールアドレス」を入力することで履修単位が認められます。

※見逃し受講期間（オンデマンド）参加

ゼミナール生ページ (<https://www.rishou.org/zemipage-2026#/>) に記載のある単位認定レポートに回答することで、履修単位が認められます。単位認定レポートの提出がない場合は、履修登録（受講申込）をしても、単位が認定されませんのでご注意ください。

※講座当日に参加された方は、単位認定レポートの入力は不要となります。

※禁止事項

- ・動画の視聴はゼミナール生個人のみが可能で、複数名での視聴は不可となります。
- ・ライブ講演映像・見逃し視聴動画・配布資料の共有、複製、転載、二次利用は禁止します。

3-4 欠席・キャンセルの連絡

当日欠席の連絡は事務局に連絡は不要となります。

また本人以外の代理受講はいかなる理由があっても一切認められません。

3-5 休講

自然災害等の影響など、やむを得ない理由により、講座開催が変更となる場合は、日本離床学会ホームページインフォメーションに最新情報を随時更新しますのでご確認ください。また非常時の際は、各担当講師が指示を出しますので、その指示に従ってください。

3-6 講座単位認定

ご自身では、マイページの「資格取得までの単位数」を参考にしてください。

※履修単位の反映には、1ヶ月ほどかかることがあります。



3-7 その他

① 参加証・領収書

各講座で講座資料とともに参加証明書・領収書を渡しますが、支払い金額と異なるためゼミナール生は使用できません。別途ゼミナール学費における領収書が必要となる場合は、事務局まで連絡ください。

② ゼミナール生の指定講座に受講料を振込した場合の対応

同額のセミナークーポンを発行いたします。

4. 離床アドバイザー習得要件

所定の単位を取得したゼミナール生は、ゼミナール修了時に離床アドバイザーの認定を受けることができます。離床アドバイザーは、「離床をすすめるために必要な専門知識・技術を有し、周囲のスタッフに対し適切な助言ができる能力を有する者」と定めています。そのために必要な知識・技術を満たすための十分な技能が得られるよう、単位修得要件が組みられています。ゼミナール生はこの修得要件を満たせるよう、計画的に受講スケジュールを自身で組まなければなりません。

離床アドバイザー習得に必要な条件は理論講座7単位、実技講座7単位の修得です。日本離床学会で現在開催されている講座はホームページを参照してください。また開催講座は、日付、講座内容が変更となる場合があります。最新の情報は日本離床学会ホームページをチェックしてください。

4-1 履修単位の管理

履修単位の管理はマイページ「受講履歴」や「資格取得までの単位数」を参考に、各自で管理してください。なお、2026年11月末時点で申請単位を満たしていれば申請は不要です。それ以降に単位を取得した場合には、日本離床学会のホームページ「認定試験・資格ページ」から離床学会技能認定2級アドバイザーの申請フォームを使用してください。また、ゼミナール生になる前の受講歴も単位として認められます。

4-2 認定方法

所定の単位を満たすと離床アドバイザー資格を習得することができます。離床アドバイザー認定者には修了式に離床アドバイザー認定証が授与されます。所定の単位数を満たした場合、事務局にて判定し、12月に離床アドバイザー認定証を郵送します。

認定を行う際には以下の条件を確認します。

必要条件：「所定の単位を取得すること」と「当会会員であること」

※会員は年会費¥4,900（クレジットカード登録または銀行振替口座登録）が必要となります。

※1年で必要単位数を満たせない場合は、ゼミナール修了後の次年度以降も修得した単位数を活用できます。

4-3 離床プレミアム・パスポート

4-3-1. 離床プレミアム・パスポートとは

1年取得ゼミナールを修了すると学習継続システムである離床パスポート5,000円（5,500円：税込）コースに**自動継続**となります。離床パスポートはいつでも休止・再開が可能です。通常の半額以下でセミナーを受講できるもので、学びを継続したい、1年では単位を取得できない、といった要望に応える特別な権利です。

4-3-2. 離床プレミアム・パスポートのコース

ゼミナールを修了された方が、以下の2つのコースを選択して、ゼミナールを継続できるものです。

【月 8000 円・月 5000 円の 2 コース】

○月 8000 円コース

- ・ゼミ生対象講座（毎年、半数以上の講座が前年のカリキュラムと入れ替わります）に加えて、希望の講座を1講座受講することができる

○月 5000 円コース

- ・希望の講座を1講座受講することができる

4-3-3. 手続き

- ・ゼミナール修了後は5000円コースへの自動切り換えとなるため手続きは不要です。
- ・毎月の1講座受講に加えて、通常のゼミナール指定講座も受講できる8000円コースの選択を希望される方、離床プレミアムパスポートへの移行を希望されない方、学費の支払い方法の変更を希望する方は事務局までご連絡ください。

5. 離床インストラクター資格取得までのカリキュラム

- ・離床インストラクター筆記試験 2027年3月
- ・離床インストラクター実技試験 2027年9月
- ・試験対策講座 2027年1月・2月

5-1. 離床アドバイザー認定後の将来

離床アドバイザーになると日本離床学会より「離床に関して周囲のスタッフに適切な助言ができる知識・技術をもつ者」として認められます。また離床アドバイザー習得者は、次年の離床インストラクター試験を目指すことができます。離床インストラクターは「離床するために必要な卓越した知識・技術を有し、自ら率先して各施設や地域で教育活動ができるものに与えられる資格」であり、離床アドバイザーの上位資格です。離床アドバイザーは受講による単位認定資格であるため、習得後の知識・技術レベルを確認するためにも、受験することをお勧めします。

離床インストラクター試験は年1回Webで行われる筆記試験と、現地で開催する実技試験があります。筆記試験、実技試験どちらにも合格すると離床インストラクターとして認定されます。

離床インストラクターになると、当会講師メンバーとして全国の離床に関する教育活動に参加する講師コース、患者・家族を含む一般市民の離床の啓発に関わる活動に参加する一般市民コースに登録することができます。（下図）

当会では、「現状をより良く変化させたい」という向上心を持つ方をバックアップし、その積極性を育みながら、社会貢献を目指す人材登用を行っています。



5-2 講師コース

当会教育講座の講師としてプレゼンテーションを実践しながら、人に伝える技術のステップアップを目指すコースです。個々の適性を判断し得意分野や領域の講座を担当し、ときに実技指導を行います。日本離床学会の特徴である「わかりやすい」プレゼンテーションを習得し、プロの医療者を教育したいという志を当会講師陣がサポートします。

5-3 一般市民教育コース

当会の理想は、医療者が患者に離床機会を提供するだけでなく、患者自ら離床の重要性を深く理解し、入院後自ら起きる意識や文化をつくることにあります。当会は、市民講座をはじめ様々な活動を通して地域社会に貢献し、一般市民に離床の啓発を行う人材育成に力を入れています。



臨床を元気に！ 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2階

TEL: 03-3556-5585 FAX: 03-6272-9683

Email: jsea@rishou.org HP: <https://www.rishou.org/>